

# このバス停、何て読む？

皆さんはバスに乗った際、「あれ、このバス停、何て読むんだろう……？」と思ったことはありませんか？ 今回は、京都市バスの変わった名前のバス停を、その由来と共に紹介します。（スミス）

## 烏丸御池

### 「からすまおいけ」

「からすま」という読みは、昔京都盆地にはたくさんの河川があったので「河原洲」+「村（朝鮮語読み）」→からすま→からすま、と変遷して生じたい。「御池」通は、道が神泉苑の中の池に続いていたことに由来する。

系統番号：15、51、65

所在地：京都市中京区船屋町

## 乾隆校前

### 「けんりゅうこうまえ」

近隣の小学校名に由来する。「乾隆」は1872年に学校が改名された際、当時の校長がつけた校名だ。京都御所の乾（北西）の方向で隆昌（栄えること）を極めてほしいという意味が込められている。紹介する中では比較的新しい由来のバス停名だ。

系統番号：6、46、59、206

所在地：京都市上京区西五辻北町

## 上終町

京都造形芸大前

### 「かみはてちょう」

「上終」とは、その土地が京の都の北（上）のはて（終）であることを表す。同じような由来で、奈良県に「京終」という地名もある。こちらは平城京の東端であることが由来だが、平安京の北端の「上終」のように上下左右では表さないようだ。

系統番号：3、5、204

所在地：京都市左京区北白川瓜生山町

## 羽束師志水町

### 「はづかししみずちょう」

羽束師は造瓦・土器造などを行う技術・技能集団のこと。その読みは①ハニ（泥）ツカシ（築）が縮まったもの、②ハニカスから転じており、ハニとは埴土（粘土）でカスは水に浸して練るという意味、の2つの説が有力だ。

系統番号：20、22

所在地：京都市伏見区羽束師志水町

## 物集女

### 「もずめ」

由来は諸説あって、①「持部」という部民の一種が居住していた、②長岡京建設時に「物資を集めた所」だった、③産物の集散地だった、④葬祭に人が集まるモヅメ（喪詰め）に由来する、などがある。④が一番有力であるとされている。

系統番号：69、70

所在地：京都府向日市物集女町

## 帷子ノ辻

### 「かたびらのつじ」

由来はかなり古くにさかのぼる。1686年刊行の『雍州府志』という地誌には、嵯峨天皇の皇后であった檀林皇后の葬送の際に、棺を覆った帷子が風で舞い落ちたところであったからと伝えられていた、と記されている。

系統番号：11

所在地：京都市右京区太秦堀ヶ内町

## その他にも！

久我（こが）、神殿町（こうどのちょう）、一乗寺下り松（いちじょうじさがりまつ）、角倉（すみのくら）などがあります。興味のある人は調べてみてください！

参考文献：吉田金彦ほか『京都地名語源辞典』（東京堂出版）など